

生徒指導通信



2024.11.14 第14号
生徒指導主任 川崎洸嗣

一昨日の持久走大会お疲れさまでした。私は東和へきて三年目になりますが、この持久走大会で、全員が一生懸命走り、短い時間ですが、すごくいい時間となるものと感じています。1,2年生の皆さんは、来年も、今以上に個人タイムが伸びるように、日々走る事への興味を持ち続けましょう。さて、周囲の木々の葉も色づき始め、大きく変化するこの季節、皆さんの心境の変化はいかがでしょう!? 良い変化が見られますか!? それとも季節と同様に自分の心は大きく揺れ動いているのでしょうか!? 二学期の各行事を経験し、学期末に向かっていこうとしています。来週には合唱コンクールがあり、そして二学期の期末テストへ向かっていきます。そんな行事が多い中でも落ち着いて学校生活を送り、学習に取り組んでいってほしいと思います。今回は、毎日応援してくれている人へ感謝の気持ちを持つ意味、表し方を皆さんで考え、頑張る力へ変えていきたいと思います。



【育ててくれている人へ孝行するってどういうことか!?～後悔しない毎日のために!!～】

お家の人たちと喧嘩はしますか!? 中学生の時代は、たとえ褒められてもいい気持ちがせず、怒られたら輪をかけて反抗し返すものです。時には大喧嘩になり、家を飛び出した気持ちになったという記憶はありませんか…!? そんな時この文章を思い出し、ふと我に返ってみてください。きっと今自分たちのしなければいけないことが見えてくるはずです。



育ててくれている人が一番の理解者

育ててくれている人が元気でいる時は全く分からない事です。自分なりに色々考えていると思いますが、面と向かって育ててくれている人に何かを言う事はまずないでしょう。社会人になってお金を稼ぐようになっても、まだ元気でいたのなら、それ程に気にも留めないでしょう。逆にその時は親がうとうとして口を利くのも嫌な時の方が多いと思います。

こんな時に育ててくれている人への孝行などまるで考えもしません。お金も育ててくれている人への為では無く自分の遊びの為に全額使うでしょう。この時期は育ててくれている人より遊びが優先するはずです。

そうしていると育ててくれている人も年を重ね亡くなり、どうして育ててくれている人への孝行をしなかったのかという後悔が残ります。生前、生きている間の希望も当時は無視していました。しかしそうなる時ととても後悔します。「元気な内にどこかへ連れて行って上げれば良かった。」と時々思う事もあります。どれだけ向き合っていたのか、それを思うと胸が熱くなってきました。自分がもう少し大人だったら…、あの時応えてあげていたら…迷惑ばかり掛けて、その時思わなかったのに、今はとても「申し訳ありませんでした」という気持ちがこみ上げてきます。

後悔しても育ててくれている人はこの世には居ないのです、その状況に自分がおかれたらわかります。育ててくれている人に対してとても照れ臭い気持ちがあるかも知れませんが、元気な内に応えてあげた方が後悔しなくて済みます。どんなに孝行してもしきれないもの。出来る範囲で是非してあげて下さい。

前頁の続きです。

毎日近くにいる人ほど、そのうち新しい環境できどンドン遠くなっていきます。毎日喧嘩している人ほど君たちのことを見て、真剣に考えてくれています。毎日近くにいる人だからこそ大切に過ごし、大事にしなければいけないと思います。何も特別なことはしなくても大丈夫。毎日笑顔で、健康で頑張っている姿を見せる事こそが、一番の育ててくれている人への孝行。そう思える皆さんであってほしいと思います。また育ててくれている人への孝行は人によってできることも、したいと思う事も違うと思いますので、何が出来るか毎日の生活を送りながら考え、年末年始等の長期休暇を利用して、計画して、実行してみてください。

【すべての感覚を磨こう～「聴く」という漢字は「耳」+「目」と「心」…!!～】

神奈川県で元中学校体育教師だった腰塚勇人さんと言う人が書いた「命の授業」という本があります。腰塚さんは2002年3月1日、人生を大きく変える事故が起こりました。スキーでの転倒で首の骨を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなったのです。当時、医師からは

生きることの素晴らしさ～この瞬間からもう一度考えよう!!～

- ◆口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…
- ◆耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう…
- ◆目は人のよいところを見るために使おう…
- ◆手足は人を助けるために使おう…
- ◆心は人の痛みがわかるために使おう…

※その一瞬の状況判断が大事です!!

「一生、寝たきりか、よくて車イス」の宣告を受けます。その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒たち、職場の同僚などの応援と励ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」と「周りの人々の幸せを願う」ことにより、奇跡的な回復力を発揮しました。そんな腰塚先生が全国各地で「命の授業」と題し、講演を行っています。900回を超える講演で伝えていることは? その一部を右上で紹介します。もう一度毎日の生活を振り返り、challengeしてみましょう。

※相手の話を聴くことができる人が、相手にも自分の話を聴いてもらうことができます。あなたは自分の話を聴いてもらえない人の話を聴こうと思いますか!? 例えそう思う人が少なくとも、先生はそう思いません。しっかり相手の立場に立ち、まず話をしっかり聴くことができる人を目指してほしいと思います。

【生徒指導からの連絡】 最近の東和中学校の様子は全学年とも、遅刻が多くなってきました。寒さも深まりつつあり、布団が自分たちを離してくれないのでしょうか!? また太陽が昇るのが遅くなり、暗闇が眠りから起こしてくれないのでしょうか!? いいえ、自分たちの気持ちが負けて、一日のスタートを遅くしているのです。最初の一步には力が必要ですが、ゆとりをもった生活となるように、努力してみましょう。

【今後の予定】

11月20日(水) 期末テスト発表 ※今学期締めくくるテストです!! 気を引き締めて事前に計画的しり取り掛かりましょう。

11月23日(土) 合唱コンクール ※東和中全体で良いハーモニーを奏で、いい一日としましょう。

※寒い季節が近づいてきております。体調管理は各自しっかりと。早寝・早起き・朝ごはんです!!

※学校生活において、気になることがあれば、近くの大人や先生に相談してみましょう。

※過去の生徒指導通信については、東和中学校のHP(ホームページ)より見るができます。

右上のQRコードよりアクセスください。

